

ユマニテク医療福祉大学校 令和 4 年度自己評価結果

令和 5 年 2 月 21 日

項目	評価ポイント	評価・課題
(1)教育理念・目標	●学校の理念・目的・育成人材像は定められているか ●学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が生徒・関係業界・保護者等に周知されているか ●各学科の教育目標・人材育成像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	評価：ほぼ適切 学校の理念・目的・育成人材像・特色については、HP、学生便覧、オープンキャンパス等で周知している。年 2 回教育課程編成委員会を開催し、学校の理念・目的・育成人材像・特色について説明し、意見を収集している。入学時にオリエンテーション等を通して学生に周知している。 課題： 求められる次世代の職業像を明確にすることで、それをカリキュラムに落とし込み、構築することで、本校の職業教育の特色を定める。 改善策： 各学科で入学前の接続教育から卒業教育を含めたロードマップを作成する。そのために必要な数値目標を立案する。
(2)学校運営	●目的に沿った運営方針、運営方針に沿った事業計画、体制等が策定されているか ●情報システム化等による業務の効率化が図られているか	評価：ほぼ適切 教職員の意識、行動の更なる活性化で、業務の効率化を図る。ICT 技術を活用した情報の共有を行っている。教職員向けの防災訓練及び防災検討会を開催した。 課題： 情報の共有・協働が見える化することで、コミュニケーション促進を行う。ウイズコロナに向けた情報システムの整備を行う。 改善策： 経費節減、教育研究経費・管理経費の在籍者数に応じて意図的削減を行う。三重県 SDGs 推進パートナーに相応しいペーパーレス/オンライン意識・整頓意識の定着を目指す。防災検討会を受けて、学生の防災訓練に反映する。
(3)教育活動	●教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ●職員の能力開発のための研修等が行われているか	評価：ほぼ適切 年 2 回教育課程編成委員会を開催し、関係施設や業界団体等と連携し、教育課程の作成・見直し、授業内容・方法の改善・工夫を行っている。カリキュラムマップを全学科で整備した。外部講師を招聘して、校内教員研修を 2 回（「今年度は、「①高校生の書く力とまとめる力」、「②マイクロソフト 365 の使い方とその汎用性」、「③若年自殺者に対する基本的知識と対応」、「④新学習指導要領を知る」）実施。教員による授業勉強会（姉妹校での実践例の紹介）と理学療法士作業療法士専任教員養成講習会の伝達講習会を行った。多職種連携教育は看護学科と合同で開催した。 課題：コロナ渦のため、計画した研修への参加ができていない。教育 DX を見据えたカリキュラムの準備。授業

		スキルアップの停滞。早期からの基礎学力獲得。介護福祉学科の留学生教育の充実。 改善策：歯科医療界のデジタル化に即した教育に関しては教育器材等の整備が必要である。Web 活用授業研究／遠隔授業研究。全学科で公開授業を計画する。在籍者数の約半分を占める留学生に対する教育（日本文化習慣、日本語教育、国家試験対策を含む）の整備を行う。
(4)学修成果	●卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか ●就職率の向上、退学率の低減が図られているか ●卒業後のキャリア形成への効果を学校の教育活動の改善に活用しているか	評価：ほぼ適切 昨年度の国家試験合格率は、理学療法学科 92% (79.6%)、作業療法学科 95.7% (80.5%)、歯科衛生学科 100% (95.6%)、介護福祉学科は 67.9% (留学生含む) (72.3%) であった(カッコ内は全国平均)。就職は、ほぼ 100% 関連分野にしている。資格取得に関しては、学内での教員による個別指導に加え、アプリの活用、業者模擬試験を実施。現役合格できない学生に対するフォローアップ体制は構築している。歯科衛生学科による「地域歯科保健・在宅歯科・災害時歯科保健等」講座の開催。理学療法学科・作業療法学科による SNS を活用した卒後研修会の開催。 課題：歯科衛生学科(10 年連続 100% 合格を継続中)を除く 3 学科の資格取得率の向上の必要がある。歯科衛生学科、介護福祉学科は 6 年連続退学者 5% 未満を達成した。全学科、さらなる、退学率の減少に向けた対策を講じる必要がある。 改善策：卒業生の異動等により所属の追跡ができてない。全学科で卒業生を非常勤講師として招聘する等の機会も創出している。キャリア形成の把握のために、卒業生アンケートの実施を検討する。
(5)学生支援	●進路・就職に関する支援体制は整備されているか ●高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか ●学生相談に関する支援体制は整備されているのか	評価：ほぼ適切 理学療法学科・作業療法学科・介護福祉学科(ハローワークを含む)の就職支援は、関係施設と連携を図る。歯科衛生学科は三重県歯科医師会(県外希望者には県外就職先の紹介)と連携している。就職説明会の開催(理学療法学科・作業療法学科)や就職試験対策(小論文・面接指導)を行うものの、必ずしも結果が出ないケースもあり、今後検討が必要となる。留学生に対する学習や生活の指導を行った。姉妹校の通信制コース生徒への授業を全学科で担当した。県内高校への出前授業やバス見学等のキャリア教育・職業教育への協力を行っている。月 2 回、公認心理師によるスクールカウンセリングを実施しており、有効に活用されている。 課題： 学生周知の方法として、アプリの導入を検討する。 改善策： 様々な修学支援の制度について、学生に周知し、必要な学生に届くよう事務部門と教員部門が協力して支援

		する。ウイズコロナに向けた行事の再開を行う。
(6)教育環境	●施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ●学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	評価：ほぼ適切 校舎全体として経年劣化しているため、段階的に大きな施設設備の更新を行っており、2022年度はリハビリ校舎の受電設備の更新工事を行った。必要に応じて設備の軽微な修繕も適宜行っている。2023年度は全校舎のネットワーク整備を行い、教育のDX化を進める為の基盤整備を計画している。 実習施設については、必要に応じて各学科で登録申請を行っている。自然災害の備えとしてポータブル電源とラジオライトを購入した。またロッカー等の固定を行い、転倒防止対策を順次講じている。 課題： 経年劣化による外壁補修、LED化、屋上防水シート修理、校舎内防災対策（窓ガラス飛散防止、転倒防止）、学生寮整備。 改善策： これまでに実施した整備工事の履歴を元に今後の施設整備に関する長期計画を立案する。年2回の防災訓練を計画する。
(7)学生の受け入れ・募集	●学生募集活動は適正に行われているか ●高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか ●生徒募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	評価：ほぼ適切 理学療法学科・作業療法学科では職業理解を促進するためにオープンキャンパスで「一緒にチャレンジ」を企画した。歯科衛生学科は教育訓練給付金制度が利用できることを踏まえ、社会人募集も積極的に行った。介護福祉学科は現役生（内部進学を含む）及び留学生（内部進学を含む）には施設奨学金の施設等とも連携を図り、就職まで見据えた進学の検討を促すような対策を検討した。学内での広報募集勉強会を継続する。連携する企業とは、施設奨学金（理学療法学科、作業療法学科、介護福祉学科）や「学生等の学びを継続するための緊急給付金」、「公益財団法人穴吹キヌエ忠嗣教育基金により奨学金制度」等の周知を行った。高等教育の修学支援新制度授業料等減免及び職業実践専門課程の年度更新を行った。 課題： オープンキャンパスから入学に結び付けることが重要。ウイズコロナに向けた募集活動を模索する。 改善策： 今後も、SNSでの発信を継続していく。広報募集業者と連携を図る。
(8)財務	●財務について会計監査が適正に行われているか ●中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ●予算・収支計画は有効	評価：ほぼ適切 法人として、理事会の承認、監査等は適正に行われている。財務基盤においては、修繕費、人件費、物価高騰による経費の増加傾向があるが、募集活動内容の見直しや入学定員の微増により安定を図っている。 課題：

	かつ妥当なものとなっているか	学生数は学科によりばらつきがあり、全体として定員を充足していない。理学療法学科及び作業療法学科が3年制になったことによる収支の見直しが必要である。 改善策： 入学者数の確保と退学者数の減少、経費支出の見直しと予算化、業務の効率化を図る。
(9)法令等の遵守	●法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ●個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	評価：ほぼ適切 労働基準法改正にも伴い、有給休暇取得に向けた取り組みを行う。そのために必要な方策を講じる。多様化を受け入れる取り組みとして、社会情勢を含めた若者が抱える多様な問題について考え、意見交換の場を構築する。各職種のガイドライン等の改正についての情報の共有を進める。 課題： 教職員の意識啓発を図るために、研修を定期的に行う必要がある。2021年に改正された”必要かつ合理的な配慮”を行う(障害者差別解消法)ことについて検討する。 改善策： 個人情報の管理の徹底を図るため、教職員間でのダブルチェックを徹底する。
(10)社会貢献・地域貢献	●学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ●生徒・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	評価：ほぼ適切 介護福祉学科は「RUN 伴＋四日市 2022」への中継点の協力と学生ボランティア活動を行った。歯科衛生学科は地域公開講座し、近隣の衛生士及び卒業生に対してのスキル研修支援を行った。理学療法学科では、地元スポーツ競技のサポート支援を行った。作業療法学科は休暇を利用した外部の活動を推奨した。地域住民に対する「はつらつ健康塾」の講師を務めた。 課題： コロナ禍で、学生のボランティア活動は縮小している。 改善策： 地域住民への地域研修会の講師を務める。